

みが、資本と云ふが如き必要にして、何よりも重大な物に、名稱を附せられぬやうな不完全なものだとは思へぬが、然し近世の意味に於ける資本と云ふ語の、十八世紀以前に存じなかつたのは、事實なのだから仕方がない。是れはまた、博愛(資本家制度固有の道徳的偽善)と云ふ語に在ても同じである。且つ資本家の財産がその存在を確立し、社會上に優勢を占むるに至つたのは、實に十八世紀に在つたのである。此の資本の社會的勢力は、遂に佛蘭西大革命を惹起すに到つたので、之れは近世史上の最大事件の一ではあつたが、畢竟、自由、友愛、平等、正義、及び愛國心の合言葉で成就された紳士閥革命に過ぎなかつたので、紳士閥は後にこの合言葉を、彼等の政治的及び經濟的企業を吹聴するに用ひた。革命當時、資本家と云ふ者が、社會に新たに生れた人間だつた事は、セバステアン、メルセルが、一八〇二年に著した『新語辭典』中に、『資本家』と云ふ一語を挿入し且つ之れに左の奇妙な定義を附するのを、必要と考へたに見ても解る。

「資本家、この語は巴里以外には全く知られて居ない。これは富の怪物で、鐵の心を有し、そして黄金の外、何物なし愛せざる人間を云ふ。彼に向つて地租を語るさう、徒らに彼の嘲笑を買ふに過ぎぬ。蓋し彼は一時の土地をも所有せぬのであるから如何にして彼から地租を徴取し得やうや、賤商を劫掠し、そして他の盜賊を恐れて、黄金を埋藏する砂漠のアラビア人のやうに、資本家は吾々の金錢を隠し去る者である。」

一八〇二年當時には、人類は猶未だ、今日世人が資本家に對して抱いて居るやうな、畏怖尊敬の感情を持たなかつたのである。

資本と云ふ語は、拉典の起原ではあるが、希臘語及び拉典語には、之に相當せる物が無い。此の二個の豊富なる國語中に、その語の存在しないのは、資本家財産が少くとも經濟的及び社會的現象

としては、古代に存在せざりし證據と云はねばならぬ。

資本と云ふ語に相當する財産の形式は、僅かに十二世紀以後、歐羅巴を動搖させた經濟的、及び政治的運動の結果たる、商業的生産の確立後にはじめて發達し、且つ社會的勢力を得たのである。此の商業的生産は、アメリカ、喜望峰を經由して印度に達する航路との發見。アメリカからの貴金屬類の輸入。君士坦堡の占領。印刷術の發明。歐洲皇室間の姻戚關係。及び大封建國家の組織。並びにそれから生じた關聯的な、また一般的な平和の爲に鼓舞されたのであつた。凡てかう云ふ諸原因は、有ゆる私有財産の最も完全な形式たり、そして最後の形式とも斷言される資本を、急速に發達させる上に協力した所である。資本と云ふ物の比較的近代の出現は、資本が不變な且つ常に發物でなくして、却つて有ゆる知識的及び物質的現象のやうに絶えず進化し、且つ相互から出で、然かも相異なる形式の連結を、經過せるものなる事を示すべき、絶好の證據と云ふべきである。實に財産は、決して何時も同じ物では無かつたのであつて、現代の社會では、之れは種々なる形式を有つて居るが、先づ主として二つに分ける事が出来る。

#### 一 共有財産の形式

A 古代の起原の共有財産。この代表物は過去數世紀間、貴族と紳士閥との横領に委ねられて居た共有地である。

B 近世の起原の共有財産。國家の管轄する所で、公共事業の名稱の下に包括されて居る。(即ち造幣局、郵便局、公共道路、圖書館、博物館等。)